

第36回カツオ県民会議幹事会 議事要録

日時：令和3年4月23日（金） 11：00～13：00

場所：土佐料理司本店

出席者：山崎 道生、受田 浩之、竹内 太一、西山 勝、木村 祐二、竹内 孝久（代理出席 福島 徹）、千頭 邦夫、中澤 陽一、中田 勝淑、中村 彰宏（代理出席 眞鍋 隆裕）、久松 朋水、宮田 速雄、黒笹 慈幾、小笠原 慶二、西村 純子、川渕 孝

事務局：岡本 吉行、市川 幸

陪席者：木村 雅俊、吉用 武史、八田 大輔、松岡 洋介、奥代 智

開催にあたり山崎会長より挨拶があった。

○第34回幹事会議事要録（案）の確認が行われ確定された。

（1）カツオマイスターの新規認定

食文化分科会より新規3件の推薦があり、3件認定することが承認された。

（2）各分科会活動報告

○食文化分科会

- ・カツオマイスターを広めていく活動をする。
- ・カツオマイスターによる料理教室の企画

○情報発信分科会

- ・コロナ禍により開催ができていないが、状況を見ながら開催していく。

○消費・漁業分科会、資源調査・保全分科会

合同分科会の企画検討

（3）令和2年度県民会議総会について

○令和2年度収支報告（案）、令和3年度事業計画及び収支計画（案）の報告があり承認された。

○令和2年度総会開催方法について、新型コロナウイルス感染状況により昨年度に引き続き、メール会議（5月GW明けを予定）での開催が決定した。

（4）令和3年度事業計画

○MSCについて

中田幹事より、近海カツオ船（高知かつお漁協7隻・南郷漁協19隻）によるMSC認証が令和3年5月～6月頃に取得見込みであることが報告され、今後、カツオ県民会議としてどのようにバックアップしていくか意見交換を行った。

・MSC認証を取得した漁業者による認証水産物はCOC（Chain of Custody:加工・流通過程の管理）認証を取得した業者を経て消費者に届くことから、まず、消費者に知ってもらうことが重要である。

- ・こども部会

・こどもを対象に SDGs（持続可能な開発目標）14：海の豊かさを守ろう、12：作る責任、使う責任から持続可能な消費・生産、海洋資源の一つの方法として MSC を伝えていくのはどうか。

・高知のカツオが美味しいのは、一本釣りだと伝えるのが理解されやすいのではないか。

・どのように広報していくか情報発信分科会でも協議する。

合同分科会での勉強会等、今後も継続して協議し企画を考えていく。

○オンラインセミナー「食」の企画について

・情報発信分科会 黒笹幹事、小笠原幹事、食文化分科会 木村座長を中心にコンテンツを協議し、幹事会に提案する。

○高知県幹部とのカツオ資源に関する意見交換について

・令和3年3月の県議会で、大石宗議員よりカツオについて提案があり、高知県の進捗等について高知県 水産振興部 西山副部長より以下の報告があった。

・カツオ・マグロの課題の洗い出しを進めている。

・カツオ資源について、県民の理解を得る為に、カツオに関する数値化、検討チームを設置し、経済的、文化的な価値の数値化を進めていく。

・文化的な価値については、県民会議で取り纏めた日本遺産の資料等を参考にしたい。

・今後、進捗があれば幹事会で報告していく。

必要であれば幹事会以外でも検討の場を設けていく。

(5) 副幹事長の選出について

○岡内幹事の後任として、木村幹事が副幹事長に推薦され、承認を得た。

(6) 日本カツオ学会吉用事務局長より、「日本カツオ学会10年史」が寄贈された。

(7) 次回の幹事会の日程を、6月4日（金）11：00～13：00で決定した。

以上